

～愛知県「分譲戸建住宅」の3月販売動向より～

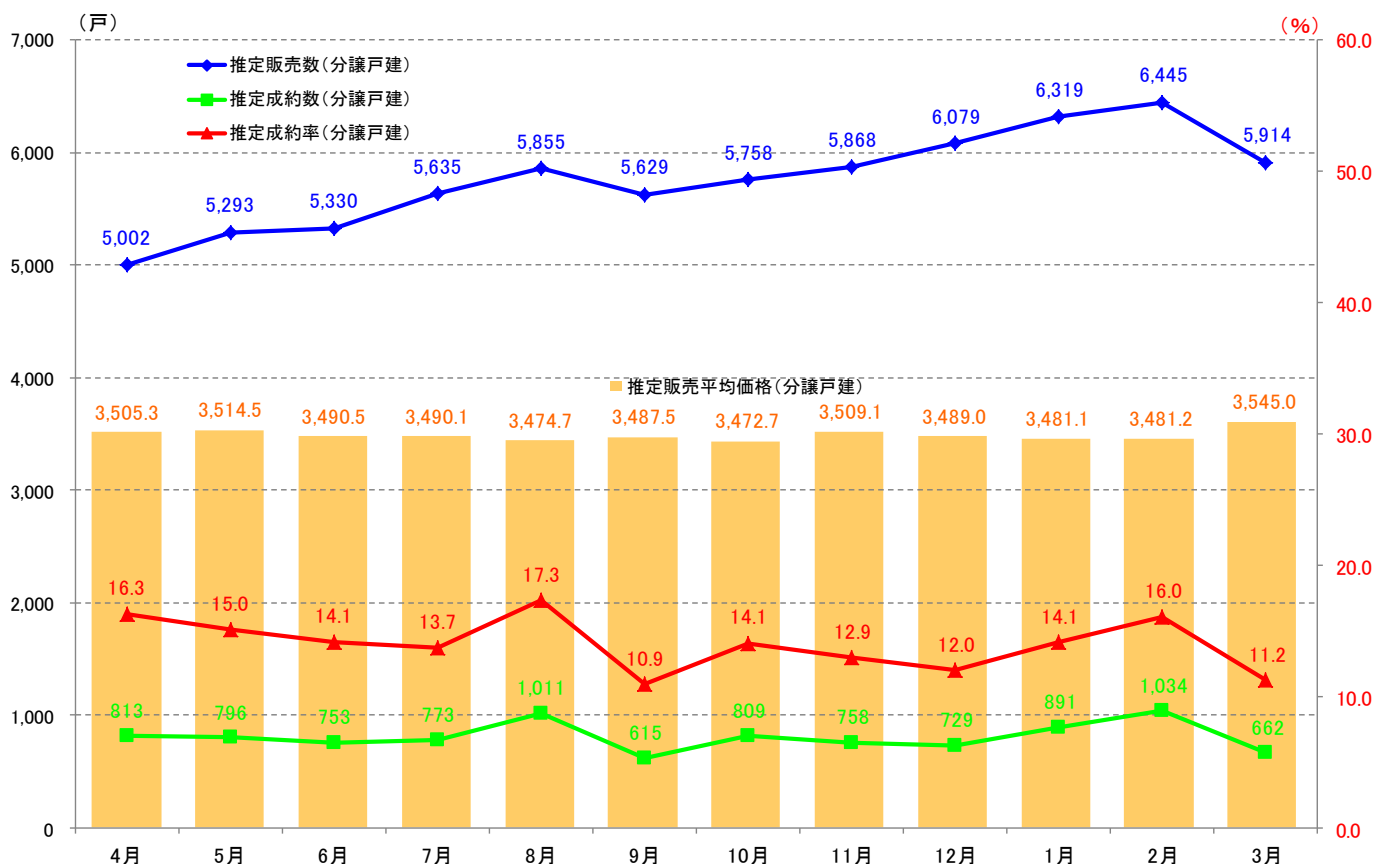
コロナ・ショックの分譲戸建住宅市場への影響

TSON住宅市場データ室では独自の調査により、毎月、愛知県の分譲戸建住宅の販売動向を公表しています。今回公表した3月分は新型コロナウイルスの影響を受けたと考えられる最初の統計になります。

それによると三つのことが読み取れます。第一に増加傾向にあった販売数（在庫数）が減少しました。減少数は531戸（約8%減）です。第二に成約数（販売数）が減少しました。減少数は372戸（約35%減）です。第三に販売平均価格はあまり変化がみられません。約63万円増加（約1.8%増）している程度でほぼ横ばいです。

分譲戸建住宅市場では、ビルダーの供給数が減少し、購入者の需要数も減少しましたが、価格はほぼ横ばいです。コロナ・ショックという新しい環境要因が市場に加わり、供給側と需要側の神経戦が始まったようです。4月の動向が気になるところです。

2020年3月 愛知県分譲戸建住宅の販売数、成約数、成約率



※1:株式会社TSON 住宅市場データ室
「2020年3月 愛知県 分譲戸建住宅の販売数、成約数、成約率の調査結果」
https://www.jyuseikatsu.jp/data/files/20200417_release_a.pdf

(2020.4.23 株式会社TSON 住宅市場データ室 小間幸一)